

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

②事業者情報

名称：	アスク東川口保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	加藤 美磨里	定員(利用人数)：	90 (91) 名
所在地：	〒 333-0811 埼玉県川口市戸塚4-21-1	TEL	048-298-0083

③評価実施期間

平成27年 8月 1日(契約日)～平成28年 3月 31日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

○保育所の特性を生かし、地域の子育て支援の拠点となっている
 子育て支援センターが併設されており、専任で保育士を配置している。毎週1回ずつ、恒常的に利用する固定メンバーを5カ月毎に募集し、常時8組ずつが登録をしている。他にリズム体操、絵本の読み聞かせ、手作りおもちゃの製作、調理体験等、いろいろなメニューを用意し、それぞれの会にスポットで利用する親子も多い。育児相談も実施しており、毎月のセンター利用者数は延べ150人以上と多く、地域の子育て家庭からのニーズも高い。また、園庭開放や在園児とのふれあい保育、夏祭りや運動会へ地域の人を招待するなど、地域の子育ての拠点としての役割を果たしている。地域の老人施設との交流する機会もあり、子どもたちが交流を広げ社会性を育む場ともなっている。

○安全・安心な保育に向けて、園内のヒヤリハットマップや散歩マップを掲示し危険への気づきを促し情報の共有を図っている
 園内研修において全クラスから発生した事故の報告があり、その背景を検証して事故の再発防止に努めている。危険だと思われる個所の提案をし、話し合いによってヒヤリハットマップに反映している。散歩マップも園の散歩への配慮はもちろん、保護者に向けても見通しが悪かったり、危険だと思われる箇所の周知への発信に活かしている。園内にヒヤリハットマップや散歩マップを掲示して、職員や保護者に向けて危険箇所への気づきを促し、注意喚起につながる情報の共有を図っている。

○職員間の良い連携が活かされ、意識や考え方を共有して保育を進めており、保護者からの信頼度・満足度も高い
 園長と主任のリーダーシップが活かされ、職員間での連携・コミュニケーションが図られ、園の中に生き生きとした雰囲気形成されている。職員会議及びリーダー会議を中心に園運営の方向性がワークショップ手法を活かして協議され、職員が不満や不安などを持ったまま保育が進められるのではなく、理解と協調をベースにした保育への取り組みが進められている。職員間での情報共有もスムーズに行われており、協力体制の良さが園運営全体に浸透して、保護者との信頼関係の深まりにつながり、利用者調査での高い満足度として表れている。また、非常勤職員との保育への意識共有や考え方の共通認識も高く、意見や思いなども把握して保育活動に活かされている。

◇特にコメントを要する点

○子どもの年齢に応じた玩具内容と人数に応じた玩具量の環境面でのさらなる工夫や取り組みが望まれる

保育室の玩具や絵本の配置が写真で掲示され、子どもたちにもわかりやすく配慮され、自らの整理整頓対応に活かしている。職員間での話し合いを進め、年齢に応じた自主性や主体性とは何かを職員間で共有し、年齢や発達に応じた玩具への共通意識を持ち、人数に適した玩具と量などの環境を整え、子どもたちが自主的に好きな遊びを選び、遊び込めるさらなる工夫を期待したい。また、遊びの途中や継続の製作品などの保管場所も各クラスで設定し、子どもたちの取り組み意欲の向上などに活かされたい。

○掲示している週案の様式の改善と保育への取り組みを具体的に伝える工夫も進められたい

各保育室内にはクラス毎に月間指導計画を掲示して、月のねらい、保育内容、配慮事項が保護者にもわかるように配慮している。また、週の活動計画については玄関入り口の掲示板に各クラスの活動の計画を一覧表にして、本日の子どもの活動の様子ともに掲示している。各クラスがどんな活動をして明日は何をするのか、迎えに来た保護者が一目でわかるように工夫している。担任は計画変更時の腹案も作成しており、活動変更後の修正の記載のみならず、腹案の提示や実践後の評価・振り返りの記載検討も望みたい。一日の活動の様子についてはクラス全体の子どもの様子が書かれており、活動のエピソードをさらに具体的に記録するなど、保護者が日々立ち止まって読むことで子どもとの会話につながり、楽しくより活きた記載となるようにも工夫・検討を進められたい。

○専門職としての技能や知識を活かし、子育て支援センターの機能とつなげ、さらなる子育て支援への展開を期待したい

保育園としての機能を活かして、地域の子育て家庭支援を進めており、併設された子育て支援センターにおける積極的な取り組みも地域家庭から高い支持を得ている。保育園のある地域は子育てニーズが高く、子育て支援センターへの希望者も多く常に一杯の状況である。保育士・看護師・栄養士の専門的な技能や知識などを活かし、子育て支援センターの機能とつなげ、子育てや健康支援、離乳食などの食事に関する気軽に参加できる勉強会や茶話会形式の懇談会を提供するなど、職員の負担増にならない範囲で検討を進め、さらなる子育て支援に寄与されることも期待したい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今年度も第三者評価を受ける事で、振り返りと次年度への課題に気付く事ができました。

今後さらなるサービス向上を目指し、特に以下の事を新たに取り組んでいきます。

- 1 保育環境の整備・子どもが自主的に遊びが選べ、継続できるよう引き続き取り組む。
- 2 食育について栄養士と協力し、触や匂いを大切にレシピ掲示・素材の展示など行う。
- 3 指導計画→週案を各保育室に掲示する事でねらいを明確にしていく。

また、良い評価をいただいた点につきましては、今まで以上に取り組み、ご指摘いただいた点につきましては、職員一同努力してまいります。

受審に際して、評価の中での的確なアドバイスをいただきました評価機関の皆様、ご多用中、利用調査にご協力いただきました在園児の保護者の皆様にご心より感謝申し上げます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり